

報第26号

株式会社じょんのび村協会経営状況報告書

令和8年（2026年）9月7日提出

柏崎市長 櫻井雅浩

令和 8 （ 2 0 2 6 ） 事業年度
事業計画及び予算

第 3 6 期営業計画

1 基本方針

(1) 目標

株式会社じょんのび村協会は、温泉・自然・食・文化・地域交流といった高柳の地域資源をいかし、柏崎市の交流観光拠点施設として、地域住民及び市外・県外・海外からの来訪者に親しまれる施設運営を目指します。

令和 8 年度は、令和 7 年度に整備した毎日営業体制、日帰り温泉 10 時営業開始、銀兵衛の自社運営化、厨房体制の再構築を基盤として、これらを単なる体制整備にとどめず、収益力、宿泊単価及び利用者満足度の向上につなげる年度と位置付けます。

また、門出和紙を活用した館内演出、地元食材をいかした料理・商品開発、ドッグランやスポーツイベント、旅行会社との連携、インバウンド施策の継続などを通じて、新たな顧客層の開拓と交流人口の拡大を図ります。

指定管理施設として、地域の温浴・宿泊・飲食・売店・交流・観光拠点機能を維持しながら、安定的な収益基盤の確立と、地域経済への波及効果の向上に取り組みます。

(2) 営業戦略

以下の営業戦略を重点的に実践します。

ア 営業体制の安定化と収益基盤の確立

令和 7 年度に整備した毎日営業体制、銀兵衛の自社運営化、厨房体制の再構築をいかし、温浴・宿泊・飲食・売店が連動した館内消費の拡大を図ります。特に、銀兵衛夕食付宿泊プランの本格展開により、宿泊単価の向上と飲食部門の収益力強化を目指します。

イ 地域資源をいかしたブランド強化

門出和紙をいかした館内・客室づくりを進め、「和紙の宿」としてのブランド価値を高めます。また、モール泉、地元食材、里山の自然、雪国文化などの資源を組み合わせ、じょんのび村ならではの滞在価値を磨き上げます。

ウ 新規顧客層・広域誘客の強化

ドッグランの展開によるペット同伴の観光需要の取り込み、自転車でオフロードを走るシクロクロスレース等のスポーツツーリズム、阪急交通社を始めとした旅行会社との連携、インバウンド施策の継続により、地域外からの誘客と交流人口の拡大を進めます。

(3) 事業理念

顧客のために～。

—お客様の役に立つことを考えよう—

地域のために～。

—交流・連携して、活性化へ—

未来のために～。

—持続可能な事業に取り組もう—

2 収支予算

(単位：千円)

	年間計	上期計	下期計
売上合計	260,000	140,000	120,000
入館料収入	38,800	20,700	18,100
宿泊収入	61,700	37,600	24,100
飲食収入	67,800	35,400	32,400
売店収入	37,500	20,400	17,100
ボディケア収入	3,600	1,800	1,800
その他売上収入	16,050	4,550	11,500
製造収入	3,150	1,650	1,500
マルシェ・カフェ収入	8,400	5,800	2,600
銀兵衛収入	13,100	7,000	6,100
イベント収入	9,900	5,100	4,800
売上原価	65,000	35,000	30,000
販売管理費	199,400	103,045	96,355
営業損益	▲ 4,400	1,955	▲ 6,355
経常損益	5,000	9,655	▲ 4,655

3 取組計画

(1) 営業体制の安定化と収益基盤の確立

ア 毎日営業体制をいかした利用機会の最大化

令和7年度に開始した毎日営業体制を基盤に、温浴・宿泊・飲食・売店の利用機会を最大化し、曜日による販売機会のロスを減らします。

イ 銀兵衛夕食付宿泊プランの本格展開

囲炉裏ダイニング銀兵衛の自社運営をいかし、夕食付宿泊プランを本格展開します。地元食材やイタリアンコースなどを組み合わせ、宿泊単価の向上を図ります。

ウ 飲食部門の収益強化

和食・中華・イタリアンに対応できる厨房体制をいかし、やまどり・銀兵衛・宴会等の商品力を高め、飲食部門を収益の柱として育成します。

(2) 地域資源をいかしたブランド強化

ア 門出和紙を活用した「和紙の宿」づくり

門出和紙を館内装飾や客室演出に活用し、じょんのび村ならではの宿泊価値を高めます。

イ 地元食材を活用したメニュー・商品開発

高柳・柏崎地域の農家や事業者との連携を深め、地元食材をいかしたメニューや売店商品の開発を進めます。

ウ 滞在価値の向上

モール泉、地元食材、里山の自然、雪国文化、門出和紙、囲炉裏体験などを組み合わせ、日帰りだけでなく宿泊・滞在につながる魅力を強化します。

(3) 新規顧客層・広域誘客の強化

ア ドッグラン展開によるペット同伴の観光需要の取り込み

ドッグランを活用し、ペット同伴での宿泊利用等新たな顧客層の開拓を進めます。

イ スポーツツーリズムの推進

サイクルイベントや自転車でオフロードを走るシクロクロスレース等を通じて、スポーツを目的とした来訪者を獲得し、宿泊・飲食・温泉利用につなげます。

ウ 旅行会社・インバウンド施策の強化

阪急交通社を始めとした旅行会社との連携を強化し、団体旅行・広域周遊型商品の造成を進めます。あわせて、多言語対応や海外向け情報発信を継続し、質を重視したインバウンド誘客に取り組みます。

(4) 地域還元と利用促進

ア 柏崎市民限定プランの拡充

温浴・宿泊・宴会・法要などで柏崎市民が利用しやすいプランを展開し、地域利用とリピート利用を促進します。

イ 季節イベント・地域連携イベントの継続

田植え、稲刈り、雪国体験、山菜、蛍、マルシェ等季節ごとの地域資源をいかしたイベントを実施します。

ウ 地元雇用と人材育成の継続

地元雇用の場としての役割を維持しながら、業務分担の明確化や接客、安全管理・清掃等の基礎力向上に取り組みます。

令和 7 （ 2 0 2 5 ） 事業年度
決算に関する書類

第 3 5 期営業報告

1 会社の業績

(1) 業績経過及び実績

令和 7 年度は、前年度に策定した営業計画に基づき、「地域価値の再構築と循環型観光の深化」「広域・国際市場への誘客促進と接点拡大」「自走型組織づくりと人材育成の加速」を重点方針として、各種施策を実行した一年となりました。

ア 施設運営体制の見直し

令和 7 年 4 月からは、日帰り温泉の 10 時営業開始、毎日営業体制、週末・祝日料金の設定、囲炉裏ダイニング銀兵衛の自社運営化、厨房体制の再構築など、施設運営体制の見直しを進めました。

イ 入館料収入と宿泊事業

入館料収入は、毎日営業と 10 時営業開始、土日祝日料金の設定により、前年比 106% と堅調に推移しました。宿泊事業では、旅行会社との連携による宿泊ツアー造成や、観光庁補助事業を活用したプレミアムインバウンドツアーの受入れに取り組みました。

ウ 飲食部門

上期は前年比 92% と厳しい状況でしたが、10 月のメニューチェンジにより下期は 104% まで回復しました。また、厨房体制の強化により、和食に加えて中華・イタリアンなどメニューの幅を広げることができました。

エ 売上部門

「ほんのびまんじゅう」の供給停止によって、売上げに影響がありましたが、「じょんのび温泉の素」「じょんのびバウム」「かめ最中」などオリジナル商品の販売に取り組みました。

一方で、県道 12 号の崩落、繁忙期の源泉ポンプ故障、米価格高騰、熊騒動、1 月下旬からの集中的な大雪など、施設運営に影響する外部要因・突発要因が重なった一年でもありました。

このような中、売上合計は 2 億 3, 123 万円、前年比 98% となりましたが、営業外収益の確保により、収入合計は 2 億 5, 322 万円となり、前年度実績を上回りました。

その結果、令和 7 年度の経常損益は 330 万円の黒字となりました。指定管理施設として、地域の温浴・宿泊・飲食・売店・交流・観光拠点機能を維持しながら、厳しい環境下でも黒字を確保できたことは、一定の成果であると考えています。

(2) 第35期実績

ア 収支実績

(単位：千円)

	年間計	上期計	下期計
売上合計	231,230	118,853	112,377
入館料収入	35,366	18,743	16,623
宿泊収入	52,267	32,021	20,246
飲食収入	64,052	31,529	32,523
売店収入	29,981	16,288	13,693
ボディケア収入	3,148	1,733	1,415
その他収入	21,292	3,403	17,889
製造収入	2,404	1,189	1,215
マルシェ・カフェ収入	5,527	3,668	1,859
銀兵衛収入	9,724	5,786	3,938
イベント収入	7,469	4,493	2,976
売上原価	58,575	31,269	27,306
販売管理費	190,487	98,807	91,680
営業損益	▲ 17,832	▲ 11,223	▲ 6,609
経常損益	3,300	▲ 5,608	8,908

(注意) 端数処理の関係で、数値が合わない場合があります。

イ 利用者数 (宿泊)

(単位：人)

	萬歳楽 (全13室)					ファームハウス (全7棟)				
	営業 日数	利用可能 室数	利用 室数	稼働率	人数	営業 日数	利用可能 棟数	利用 棟数	稼働率	人数
4月	26	338	118	34.91%	285	26	182	11	6.04%	97
5月	24	312	163	52.24%	421	24	168	30	17.86%	249
6月	25	325	148	45.54%	357	25	175	27	15.43%	223
7月	27	351	182	51.85%	452	27	189	48	25.40%	390
8月	31	403	231	57.32%	729	31	217	103	47.47%	763
9月	30	390	156	40.00%	343	30	210	35	16.67%	254
10月	31	403	213	52.85%	509	31	217	24	11.06%	172
11月	27	351	162	46.15%	405	27	189	21	11.11%	146
12月	25	325	124	38.15%	320	25	175	33	18.86%	261
1月	23	299	93	31.10%	227	3	21	14	66.67%	130
2月	24	312	114	36.54%	302	0	0	0	-	0
3月	29	377	153	40.58%	361	12	84	19	22.62%	137
計	322	4,186	1,857	44.36%	4,711	261	1,827	365	19.98%	2,822

ウ ユーザー数（施設）

（単位：人）

	施設利用計			入浴（楽寿の湯）			広間（やまどり）		
	今期	前期	前年度比	今期	前期	前年度比	今期	前期	前年度比
4月	8,268	8,355	98.96%	4,066	3,899	104.28%	1,894	2,089	90.67%
5月	11,522	10,812	106.57%	5,463	4,984	109.61%	2,586	2,617	98.82%
6月	8,569	9,619	89.08%	4,081	4,428	92.16%	1,952	2,048	95.31%
7月	8,831	9,076	97.30%	4,162	4,212	98.81%	2,045	2,126	96.19%
8月	12,051	12,549	96.03%	5,764	5,855	98.45%	2,941	2,984	98.56%
9月	8,032	9,395	85.49%	4,051	4,404	91.98%	1,981	2,204	89.88%
10月	9,178	9,314	98.54%	4,415	4,158	106.18%	2,443	2,179	112.12%
11月	9,586	10,473	91.53%	4,521	4,706	96.07%	2,427	2,304	105.34%
12月	8,156	7,921	102.97%	4,328	4,012	107.88%	1,892	1,539	122.94%
1月	6,767	8,618	78.52%	3,713	4,660	79.68%	1,756	2,059	85.28%
2月	7,630	6,657	114.62%	4,012	3,418	117.38%	2,026	1,414	143.28%
3月	8,474	8,334	101.68%	4,444	4,213	105.48%	2,203	1,863	118.25%
計	107,064	111,123	96.35%	53,020	52,949	100.13%	26,146	25,426	102.83%

	宴会			銀兵衛			じょんのび横丁		
	今期	前期	前年度比	今期	前期	前年度比	今期	前期	前年度比
4月	126	200	63.00%	332	139	238.85%	1,850	2,028	91.22%
5月	94	44	213.64%	866	494	175.30%	2,513	2,673	94.01%
6月	180	280	64.29%	392	538	72.86%	1,964	2,325	84.47%
7月	170	72	236.11%	522	435	120.00%	1,932	2,231	86.60%
8月	49	136	36.03%	764	701	108.99%	2,533	2,873	88.17%
9月	110	149	73.83%	400	457	87.53%	1,490	2,181	68.32%
10月	208	196	106.12%	299	477	62.68%	1,813	2,304	78.69%
11月	280	403	69.48%	359	538	66.73%	1,999	2,522	79.26%
12月	273	391	69.82%	270	331	81.57%	1,393	1,648	84.53%
1月	87	88	98.86%	179	257	69.65%	1,032	1,554	66.41%
2月	16	171	9.36%	212	297	71.38%	1,364	1,357	100.52%
3月	134	84	159.52%	319	375	85.07%	1,374	1,799	76.38%
計	1,727	2,214	78.00%	4,914	5,039	97.52%	21,257	25,495	83.38%

エ 参考（業績の推移）

（単位：千円）

区分	第26期	第27期	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
売上高	222,623	209,301	193,330	179,292	72,507	110,079	167,837	218,862	236,080	231,230
売上原価	84,698	82,113	75,291	70,235	22,871	33,591	45,128	58,979	62,415	58,575
売上総利益	137,926	127,188	118,039	109,057	49,637	76,488	122,709	159,883	173,664	172,655
販売管理費	151,197	145,794	136,126	136,888	78,011	116,199	153,619	170,599	185,092	190,487
営業損益	▲13,272	▲18,606	▲18,087	▲27,831	▲28,374	▲39,712	▲30,910	▲10,717	▲11,428	▲17,832
営業外損益	2,421	2,324	2,725	3,180	22,318	14,302	25,534	14,846	15,893	21,132
経常損益	▲10,850	▲16,282	▲15,361	▲24,651	▲6,056	▲25,409	▲5,376	4,130	4,465	3,300
当期損益	▲9,597	▲16,572	▲15,654	▲24,941	▲6,346	▲25,699	▲5,666	3,840	4,175	3,055

（注意）端数処理の関係で、数値が合わない場合があります。

2 会社の概況

(1) 株式の状況

- ア 会社が発行する株式の総数 2, 8 6 6 株
 イ 発行済株式の総数 1, 2 2 1 株 (自己株式 2 株を含む。)
 ウ 当期末株主数 2 3 8 人
 エ 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
柏崎市	666	54.54%
株式会社小林組	32	2.62%
株式会社村田組	23	1.88%
第四北越銀行	20	1.63%
株式会社植木組	20	1.63%
えちご中越農業協同組合	17	1.39%
米山建設株式会社	17	1.39%
大高建設株式会社	17	1.39%
有限会社永井工務店	17	1.39%
石塚酒造株式会社	16	1.31%

(2) 従業員の状況

業務	従業員数
フロント・施設管理	社員：5 人 パート：1 8 人
調理・フロア	社員：8 人 パート：1 1 人
売店・製造	社員：1 人 パート：1 人
人事労務・庶務・経理	社員：2 人
計	社員：1 6 人 パート：3 0 人

(3) 取締役及び監査役

会社における地位	氏 名	担当又は主な職業
代表取締役	吉 村 英 治	株式会社じょんのび村協会常勤取締役
取締役	根 来 勇 人	株式会社ワールドコンパス代表取締役
取締役	政 金 克 芳	社会福祉法人柏崎刈羽福祉事業協会理事長
監査役	大 倉 正 大	高柳地区連合会会長

(4) 取締役に支払った報酬

区分	支給額	摘要
取締役/監査役(4名)	11,359,996 円	通常報酬として

(5) 株主総会・取締役会

期日	議 件 等
株主総会 令和7年6月18日	1 第34期営業報告の件 2 第34期貸借対照表、損益計算書・株主資本等変動計算書承認の件 3 任期満了に伴う取締役選任の件 4 役員報酬の額の決定に関する件 5 第35期営業計画の件
取締役会 令和7年5月20日	1 第35期定時株主総会議案の承認 2 就業規則変更の承認 3 株主名義変更の承認 4 営業・業務報告
取締役会 令和7年6月18日	1 代表取締役の選定 2 役員報酬の決定 3 株券喪失に伴う再発行承認の件 4 株主名義変更に関する件 5 営業・業務報告
取締役会 令和7年8月9日	1 株主名義変更の承認 2 柏崎信用金庫からの借入れについて 3 株式名義変更・再発行について 4 営業・業務報告
取締役会 令和7年9月20日	1 営業・業務報告
取締役会 令和8年1月14日	1 第四北越銀行からの借入れについて 2 営業・業務報告
取締役会 令和8年3月18日	1 令和8年度 株主総会開催日時の件 2 調理課 課長選任の件 3 営業・業務報告

(6) 営業施策

主要部門別に以下の施策を実施しました。

ア 日帰り温泉（入館料）

（ア）毎日営業・10時営業開始の実施

令和7年4月からの毎日営業体制及び日帰り温泉の10時営業開始により、地域住民及び観光客の利便性向上を図りました。

（イ）週末・祝日料金の設定

土日祝日の大人・65歳以上料金をそれぞれ100円増とし、単価向上に取り組みました。

（ウ）モール泉の魅力発信

じょんのび温泉の特徴でもあるモール泉について、館内掲示やSNS等を通じて継続的にPRし、温泉そのものの価値訴求を行いました。

イ 宿泊

(ア) 旅行会社との連携による宿泊ツアー造成

旅行会社と連携し、じょんのび村のモール泉や囲炉裏ダイニング銀兵衛での夕食を組み込んだ宿泊ツアーの造成・受入れに取り組みました。

(イ) プレミアムインバウンドツアーの受入れ

観光庁補助事業を活用し、台湾等の海外富裕層向けに、温泉・自然・食・文化体験を組み合わせたプレミアムインバウンドツアーを受け入れました。

(ウ) 外部要因がある中での宿泊受入継続

県道12号崩落、源泉ポンプ故障、熊騒動、集中的な大雪などの影響がある中でも、団体・観光利用の受入れに努めました。

(エ) ペット同伴コテージの販売と新規顧客の獲得

8月中旬からコテージ1棟をペット同伴で宿泊可能とし、ドッグランの増設やペット用品の設置など受入体制を整備しました。これまでの客層とは異なる新たな顧客層の取り込みに努めました。

ウ 飲食

(ア) 10月メニューチェンジによる下期回復

中華料理に対応できるスタッフが厨房に加わり、従来の和食中心の構成に加え、メニューバリエーションの幅を広げました。

(イ) 宿泊夕食の高付加価値化

宿泊者用の会席の内容を更に充実させたグレードアップ会席プランの受付を開始しました。

(ウ) 原価管理の継続

米価格を始めとする食材価格高騰の影響はあったものの、飲食部門の原価率は前年44%から1%の上昇にとどめ、原価管理に努めました。

エ 売店

(ア) 主力商品供給停止への対応

売店の主力商品であった「ほんのびまんじゅう」が供給停止となり、定番土産品の販売機会が減少するという課題が生じましたが、これに対応すべく代替商品の開発・販売に取り組みました。

(イ) オリジナル商品の新規販売

開発を進めてきた「じょんのび温泉の素」を発売したほか、柏崎市内事業者と連携した「じょんのびバウム」、「かめ最中」などの販売を開始しました。

(ウ) 豆腐・がんもの季節限定商品の展開

自社製造の豆腐・がんものについて、季節感を打ち出した限定商品を展開し、売店商品の再構築を進めました。

オ 囲炉裏ダイニング銀兵衛

(ア) 自社運営への切替え

令和7年4月から、自社運営での営業を開始しました。これにより、本館・宿泊部門との連携改善、食材の一括仕入れ、人員配置の効率化につながりました。

(イ) 地元食材の活用とイタリアン展開

上期は妻有パークや越後みそ西の味噌など地元食材を活用し、下期はイタリアン料理のシェフを採用して新たにイタリアンコースを展開しました。

(ウ) 宿泊夕食の高付加価値化

銀兵衛を宿泊プランの付加価値を高める重要コンテンツと位置付け、宿泊単

価値向上に向けた基盤づくりを進めました。

カ イベント（企画・販促）

（ア）「ぎおん柏崎まつり 海の大花火大会」初の屋台出店

初出展ながら一定の成果を収めることができました。

（イ）大阪・関西万博に出店

観光庁「プレミアムインバウンドツアー」の一環として、世界中から来場者が訪れる舞台で、じょんのび村を直接PRする大変貴重な機会となりました。

（ウ）じょんのび地鶏祭り

新潟県内の人気飲食店がじょんのび村に集結し、「じょんのび地鶏」を使った料理を提供するグルメフェスを実施しました。多くの来場者を集め、好評なイベントとなりました。

（エ）イベント等一覧

4 月	・山菜フェア	1 0 月	・狐の夜祭り関連イベント ・柏崎 秋の収穫祭 ・インバウンド向け秋の収穫祭 ・市民大運動会屋台出店 ・ほんちょうマルシェ出店
5 月	・じょんのびWeek 2025 ・田植え体験	1 1 月	・秋まつりハンドメイドマーケット ・じょんのび地鶏祭り ・クリスマスイルミネーション点灯 ・長岡音むすびフェス屋台出店
6 月	・サイクリングイベント 2025 ・柏崎市地産地消フェア ・ホテル鑑賞ガイドツアー	1 2 月	・インバウンド向け冬の収穫祭 ・年末年始オードブル販売
7 月	・インバウンド向け花火プラン ・柏崎花火大会屋台出店 ・FM N I I G A T A 公開生放送 ・ひなたディナーショー	1 月	・じょんのび村のお正月
8 月	・夏まつりWeek ・えだまめ県えだまめ村 枝豆フェア	2 月	・雪国ボランティア受入れ ・高柳雪まつり関連イベント
9 月	・インバウンド向け秋の収穫祭 ・稲刈り体験 ・敬老の日抽選会イベント ・大阪関西万博出店	3 月	・残雪スノーロータリーフェア ・シクロクロス大会プレイイベント

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位：円)

資産の部	
【流動資産】	
現金・預金合計	26,453,530
売掛金	5,613,321
商品	4,774,792
貯蔵品	3,307,390
前払費用	1,187,500
未収入金	6,245,086
流動資産合計	47,581,619
【固定資産】	
【有形固定資産】	
建物附属設備	166,041
構築物	1
機械装置	1,446,261
車両運搬具	2
工具器具備品	3,503,537
一括償却資産	198,465
有形固定資産合計	5,314,307
【無形固定資産】	
電話加入権	291,200
ソフトウェア	2,070,000
無形固定資産合計	2,361,200
【投資その他の資産】	
出資金	30,000
保証金	500,000
投資等合計	530,000
固定資産合計	8,205,507
【繰延資産】	
開発費	11,499,167
繰延資産合計	11,499,167
資産の部合計	67,286,293
負債の部	
【流動負債】	
買掛金	3,502,385
短期借入金	12,500,000
未払費用	8,981,698
預り金	581,506
仮受金	12,460
納税引当金	290,000
未払消費税	1,440,000
流動負債合計	27,308,049
【固定負債】	
長期借入金	45,874,000
固定負債合計	45,874,000
負債の部合計	73,182,049
純資産の部	
【株主資本】	
資本金	61,050,000
資本剰余金	
資本準備金	56,700,000
資本剰余金合計	56,700,000
利益剰余金	
その他利益剰余金	
別途積立金	7,000,000
繰越利益剰余金	▲ 130,645,756
その他利益剰余金合計	▲ 123,645,756
利益剰余金合計	▲ 123,645,756
株主資本合計	▲ 5,895,756
純資産の部合計	▲ 5,895,756
負債及び純資産合計	67,286,293

損益計算書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 3 1 日

(単位：円)

経常損益の部

【営業損益の部】

【営業収益】

売上高 231,229,895

【営業費用】

【売上原価】

期首商品棚卸高 3,922,334

当期商品仕入高 59,427,403

合計 63,349,737

期末商品棚卸高 ▲ 4,774,792

売上原価 58,574,945

売上総利益 172,654,950

【販売費及び一般管理費】

販売費及び一般管理費合計 190,486,978

営業利益（損失） ▲ 17,832,028

【営業外損益の部】

【営業外収益】

受取利息 74,901

受取配当金 359

雑収入 21,911,007

営業外収益合計 21,986,267

【営業外費用】

支払利息 824,860

雑損失 29,495

営業外費用合計 854,355

経常利益（損失） 3,299,884

【特別利益】

固定資産売却益 45,454

特別利益合計 45,454

【特別損失】

固定資産除却損 1

特別損失合計 1

税引前当期純利益（損失） 3,345,337

法人税等充当金 290,000

当期純利益（損失） 3,055,337

販売管理費及び一般管理費内訳書

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 3 1 日

(単位：円)

役員報酬	11,359,996
給料手当	53,592,517
雑給	28,610,712
法定福利費	11,025,146
厚生費	1,340,999
荷造発送費	349,104
広告宣伝費	1,908,048
交際費	1,164,013
会議費	52,461
旅費交通費	2,504,362
通信費	585,885
消耗品費	6,612,208
リネン費	4,263,043
電気料	19,506,708
水道料	3,420,681
燃料料	13,611,905
ガス料	3,381,397
車両費	2,451,922
事務用消耗品費	416,447
諸会費	158,618
支払手数料	7,930,210
新聞図書費	74,724
保守管理費	3,863,564
支払保険料	335,580
支払報酬	508,500
研修費	10,400
修繕費	1,477,600
減価償却費	3,587,528
賃借料	1,271,431
租税公課	309,154
雑費	1,385,377
委託料（ボディケア委託料含む。）	3,416,738
販売管理費及び一般管理費合計	190,486,978

株主資本等変動計算書

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 3 1 日

(単位：円)

	株 主 資 本							純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			株主資本 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金		利益剰余金 合計		
				別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	61,050,000	56,700,000	56,700,000	7,000,000	▲ 133,701,093	▲ 126,701,093	▲ 8,951,093	▲ 8,951,093
当期変動額								
当期純損益					3,055,337	3,055,337	3,055,337	3,055,337
当期変動額 合計					3,055,337	3,055,337	3,055,337	3,055,337
当期末残高	61,050,000	56,700,000	56,700,000	7,000,000	▲ 130,645,756	▲ 123,645,756	▲ 5,895,756	▲ 5,895,756

個別注記表

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 3 1 日

I この計算書は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

II 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法

2 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

法人税法の規定に基づく定率法

ただし、平成 1 9 年 4 月以降に取得した建物、建物附属設備、構築物は定額法

② 無形固定資産

定額法

3 その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

4 その他の注記

有形固定資産の減価償却累計額 4 1 , 5 8 3 , 3 0 2 円

III 株主資本等変動計算書に関する注記

1 当該事業年度の末日における発行済株式の数 1 , 2 2 1 株

2 自己株式の数 2 株